

2023年（令和5年）11月4日 土曜日

文化やスポーツ 五感使う問題も

大分学検定

大分県に関する幅広い知識を問う「第11回しんけん大分学検定」が3日、大分市府内町のコンパルホールであった。大分学研究会と大分合同新聞社の主催。県内外からの受検者が筆記や五感を使った設問に挑んだ。

オンラインを含めて172人が受けた。筆記は県内の文化やスポーツなど8分野から100問を出題。難易度の高いマスターコースは、二つの飲料のうちカボス入りの方を当てるもの



カボス入りの飲料を当てる問題に挑むマスターコースの受検者

や、温泉の湯に触れたり匂いを嗅いだりして答える5問のスペシャル問題もあった。

マスターコースに初めて挑戦した大分市廻栖野の団体職員日野修一さん(45)は「歴史の問題がマニアックだった。継続して受けていきたい」と話した。

結果は12月上旬に通知する。高得点者には県内の特産品や観光施設の入場券などの副賞を贈る。

(佐藤光里)